



総務文教

(旧)北小跡地利用について

■6月25日開催

Q (旧)北小跡地利用について

A この件は、行政の専決事項で議会が関与できない。

Q 議会は県に対し意見書を出している。特別支援学校は了解を得られたと解釈。

Q 住民交流施設は町有か。

A 県の学校施設。使用賃借契約が、使用許可にするか、今後話していく。

Q 無償賃借の契約の年限は。

A 土地の使用賃借については10年間、異議が無ければもう10年と考えている。

Q 住民交流施設的设计

A 施工、他の施設的设计

Q 中学校給食について

A 住民の税金を使うのだから、費用対効果の説明をするのは行政の責任。

Q 平成22年2月くらいに竣工。23年4月から全面開校。

Q 小学校給食も視野に入れ、近隣市町と共同でセンター方式を採用すれば費用を抑えた給食ができるのでは。

A 広域では簡単に合意できないし、前に進むのは大変。

■7月20日開催

Q (旧)北小跡地の進捗状況が聞かせてください。県への無償貸与に対して、町への見返りは？

A 子どもを将来、自立の事を考えると就労施設の方が良かったのではないかと。二子に出来ないコニバスに税金を使つのは無駄。

■8月1日開催

Q 委員会として独自にアンケートを実施する検討など。

A 委員会として独自にアンケートを実施する検討など。

■8月10日開催

Q (旧)北小跡地の進捗状況が聞かせてください。県への無償貸与に対して、町への見返りは？

A 子どもを将来、自立の事を考えると就労施設の方が良かったのではないかと。二子に出来ないコニバスに税金を使つのは無駄。

■8月7日開催

Q 全員協議会で意見を聞き、議員定数を削減するという方向性の意見が多かった。

A 全員協議会で意見を聞き、議員定数を削減するという方向性の意見が多かった。

■6月6日開催

Q 特別委員会を設けず、議会運営委員会で審議することを決定した。議会基本条例については議員定数を最重要課題とし、年度内を目標に議会基本条例の骨格を

A 特別委員会は設けず、議会運営委員会で審議することを決定した。議会基本条例については議員定数を最重要課題とし、年度内を目標に議会基本条例の骨格を

■6月27日開催

Q 基本条例の中の委員会の運営をどうするか、常任委員会の数の制定にかかわってくるため、まず議員定数を決めるべきとの意見があり、議会基本条例を作成する中で議員定数的を絞って全員協議会で意見を聞くこととした。

A 基本条例の中の委員会の運営をどうするか、常任委員会の数の制定にかかわってくるため、まず議員定数を決めるべきとの意見があり、議会基本条例を作成する中で議員定数的を絞って全員協議会で意見を聞くこととした。

■8月7日開催

Q 全員協議会で意見を聞き、議員定数を削減するという方向性の意見が多かった。

A 全員協議会で意見を聞き、議員定数を削減するという方向性の意見が多かった。

■8月7日開催

Q 要介護認定率は、平成17年度から下降線をたどっている。これは、健康な高齢者が増えたのか、認定基準が厳しくなったのか、それとも介護保険の制度自体が利用しにくいのか。

A 高齢者は毎年、約260人ずつ増えている。認定方法は変わっていないため、申請が少なかったと考えている。介護サービスの利用者は、制度発足当時から認定者の約80%です。

Q 特別養護老人ホームの待機者数は。

A 申込者は延べ208人が、他市町村への転出者、死亡者、他の施設との掛持ち者を除くと実質108人となる。

Q 障がい者のショートステイに年齢制限はあるのか。

A 障がい者手帳を持っている65歳以上の方が対象となるが、16疾病に該当すれば40歳以上の方でも該当。

■「あえの里」を視察

A 平成21年度から、公益事業として小規模多機能型居宅介護事業を実施予定。

健康被害が心配。近隣工場からのばい煙や悪臭など、町で定期的なチェックは。

県道に歩道が少なく交通量の多い通学路は危険。歩道を整備してほしい。

■4月15日開催

Q 前年度から取り組んでいる議会活性化について、議会基本条例を策定することに重点をおき、協議する。

■5月23日開催

Q 議会の活性化に向けて取り組む会議の進め方と特別委員会をどうするのか。協議の結果、全員協議会を開催し、議会基本条例における特別委員会設置については各議員の意見を聴取することとした。

■6月6日開催

Q 特別委員会は設けず、議会運営委員会で審議することを決定した。議会基本条例については議員定数を最重要課題とし、年度内を目標に議会基本条例の骨格を

A 特別委員会は設けず、議会運営委員会で審議することを決定した。議会基本条例については議員定数を最重要課題とし、年度内を目標に議会基本条例の骨格を

民生生活

「コニ」の34分別などを視察

■7月1日(徳島県上勝町)

Q 知の障がい者通所授産施設「れもん」の運営と、「障害者自立支援法」に対応した運営方針、利用者の自己負担などを調査した。

■7月2日(徳島県石井町)

Q 知的障がい者通所授産施設「れもん」の運営と、「障害者自立支援法」に対応した運営方針、利用者の自己負担などを調査した。

■8月8日開催

Q 本年度に策定委員会

■8月10日開催

Q 本年度に策定委員会

■8月10日開催

Q 本年度に策定委員会

■8月10日開催

Q 本年度に策定委員会

■8月10日開催

Q 本年度に策定委員会

■8月10日開催

Q 本年度に策定委員会

■8月10日開催

Q 本年度に策定委員会

■8月10日開催

Q 本年度に策定委員会

■8月10日開催

Q 本年度に策定委員会

■8月10日開催

Q 本年度に策定委員会

■8月10日開催

Q 本年度に策定委員会

■8月10日開催

Q 本年度に策定委員会

■8月10日開催

Q 本年度に策定委員会

■8月10日開催

Q 本年度に策定委員会

■8月10日開催

Q 本年度に策定委員会

■8月10日開催

Q 本年度に策定委員会

■8月10日開催

Q 本年度に策定委員会

■8月10日開催

Q 本年度に策定委員会

■8月10日開催

Q 本年度に策定委員会

■8月10日開催

Q 本年度に策定委員会

■8月10日開催

Q 本年度に策定委員会

■8月10日開催

Q 本年度に策定委員会

■8月10日開催

Q 本年度に策定委員会

■8月10日開催

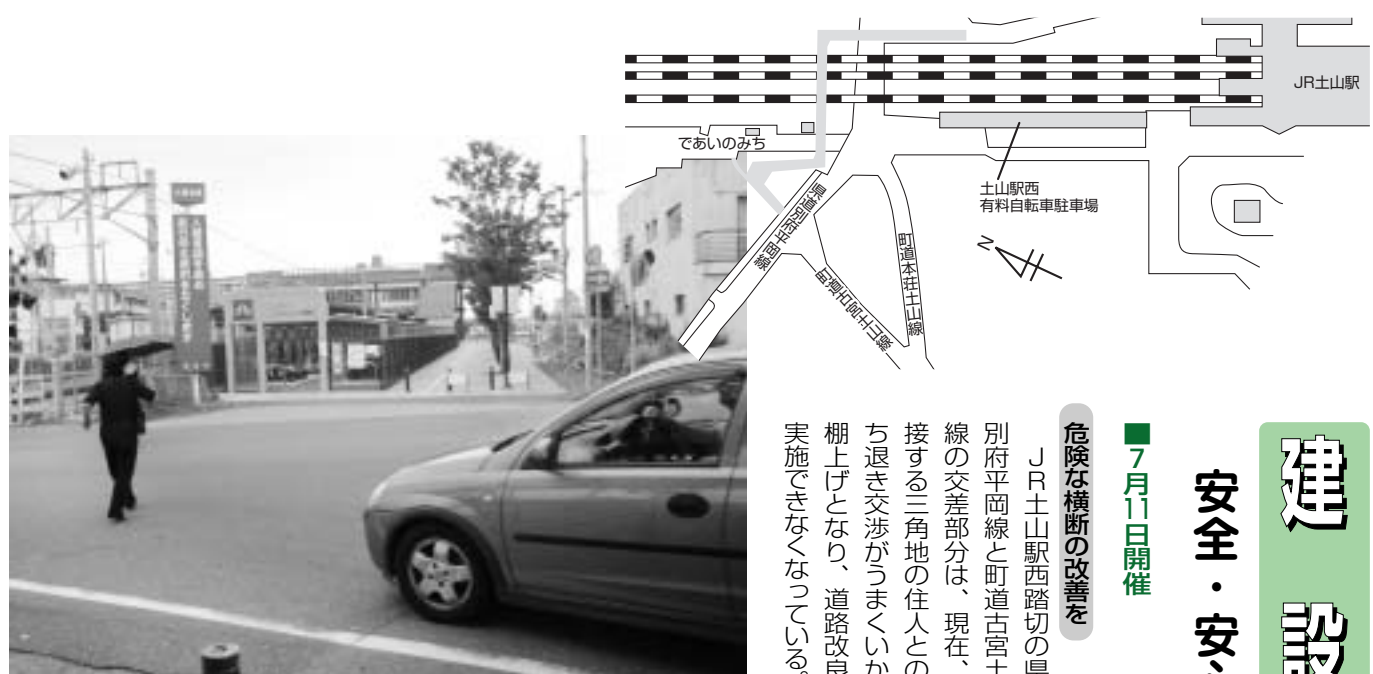
Q 本年度に策定委員会

■8月10日開催

Q 本年度に策定委員会

■8月10日開催

Q 本年度に策定委員会



▲JR土山駅西踏切直前の危険な横断状況

建設水道

安全・安心のまちづくり

■7月11日開催

Q 危険な横断の改善を

A JR土山駅西踏切の県道別府平岡線と町道古宮土山線の交差部分は、現在、隣接する三角地の住人との立ち退き交渉がうまくいかず棚上げとなり、道路改良が実施できなくなっている。

■8月11日開催

Q 踏切周辺の道路整備

A JR土山駅西踏切の県道別府平岡線と町道古宮土山線の交差部分について、町より、これまでの計画の進め方及び用地買収の経過について説明を求めた。

■8月11日開催

Q 踏切周辺の危険な横断状況を改善するため委員会として現状を把握する中で「どういう対策が必要なのか」「またどういう効果があるのか」を話し合い、有効な対策であれば町に提案していきたいとして、現地視察を行い再度議論した。

■8月11日開催

Q 踏切周辺の危険な横断状況を改善するため委員会として現状を把握する中で「どういう対策が必要なのか」「またどういう効果があるのか」を話し合い、有効な対策であれば町に提案していきたいとして、現地視察を行い再度議論した。

■8月11日開催

Q 踏切周辺の危険な横断状況を改善するため委員会として現状を把握する中で「どういう対策が必要なのか」「またどういう効果があるのか」を話し合い、有効な対策であれば町に提案していきたいとして、現地視察を行い再度議論した。

■8月11日開催

Q 踏切周辺の危険な横断状況を改善するため委員会として現状を把握する中で「どういう対策が必要なのか」「またどういう効果があるのか」を話し合い、有効な対策であれば町に提案していきたいとして、現地視察を行い再度議論した。

■8月11日開催

Q 踏切周辺の危険な横断状況を改善するため委員会として現状を把握する中で「どういう対策が必要なのか」「またどういう効果があるのか」を話し合い、有効な対策であれば町に提案していきたいとして、現地視察を行い再度議論した。

■8月11日開催

Q 踏切周辺の危険な横断状況を改善するため委員会として現状を把握する中で「どういう対策が必要なのか」「またどういう効果があるのか」を話し合い、有効な対策であれば町に提案していきたいとして、現地視察を行い再度議論した。

■8月11日開催

Q 踏切周辺の危険な横断状況を改善するため委員会として現状を把握する中で「どういう対策が必要なのか」「またどういう効果があるのか」を話し合い、有効な対策であれば町に提案していきたいとして、現地視察を行い再度議論した。

■8月11日開催

Q 踏切周辺の危険な横断状況を改善するため委員会として現状を把握する中で「どういう対策が必要なのか」「またどういう効果があるのか」を話し合い、有効な対策であれば町に提案していきたいとして、現地視察を行い再度議論した。

■8月11日開催

Q 踏切周辺の危険な横断状況を改善するため委員会として現状を把握する中で「どういう対策が必要なのか」「またどういう効果があるのか」を話し合い、有効な対策であれば町に提案していきたいとして、現地視察を行い再度議論した。

議会運営

議会基本条例作成に向けて

■4月15日開催

Q 前年度から取り組んでいる議会活性化について、議会基本条例を策定することに重点をおき、協議する。

■5月23日開催

Q 議会の活性化に向けて取り組む会議の進め方と特別委員会をどうするのか。協議の結果、全員協議会を開催し、議会基本条例における特別委員会設置については各議員の意見を聴取することとした。

■6月6日開催

Q 特別委員会は設けず、議会運営委員会で審議することを決定した。議会基本条例については議員定数を最重要課題とし、年度内を目標に議会基本条例の骨格を

■6月27日開催

Q 基本条例の中の委員会の運営をどうするか、常任委員会の数の制定にかかわってくるため、まず議員定数を決めるべきとの意見があり、議会基本条例を作成する中で議員定数的を絞って全員協議会で意見を聞くこととした。

■8月7日開催

Q 全員協議会で意見を聞き、議員定数を削減するという方向性の意見が多かった。

■8月7日開催

Q 全員協議会で意見を聞き、議員定数を削減するという方向性の意見が多かった。

■8月7日開催

Q 全員協議会で意見を聞き、議員定数を削減するという方向性の意見が多かった。

■8月7日開催

Q 全員協議会で意見を聞き、議員定数を削減するという方向性の意見が多かった。

■8月7日開催

Q 全員協議会で意見を聞き、議員定数を削減するという方向性の意見が多かった。

■8月7日開催

Q 全員協議会で意見を聞き、議員定数を削減するという方向性の意見が多かった。

■8月7日開催

Q 全員協議会で意見を聞き、議員定数を削減するという方向性の意見が多かった。

■8月7日開催

Q 全員協議会で意見を聞き、議員定数を削減するという方向性の意見が多かった。

■8月7日開催

Q 全員協議会で意見を聞き、議員定数を削減するという方向性の意見が多かった。

■8月7日開催

Q 全員協議会で意見を聞き、議員定数を削減するという方向性の意見が多かった。

■8月7日開催

Q 全員協議会で意見を聞き、議員定数を削減するという方向性の意見が多かった。

■8月7日開催

Q 全員協議会で意見を聞き、議員定数を削減するという方向性の意見が多かった。

■8月7日開催

Q 全員協議会で意見を聞き、議員定数を削減するという方向性の意見が多かった。

■8月7日開催

Q 全員協議会で意見を聞き、議員定数を削減するという方向性の意見が多かった。

■8月7日開催

Q 全員協議会で意見を聞き、議員定数を削減するという方向性の意見が多かった。

■8月7日開催

Q 全員協議会で意見を聞き、議員定数を削減するという方向性の意見が多かった。

■8月7日開催

Q 全員協議会で意見を聞き、議員定数を削減するという方向性の意見が多かった。

■8月7日開催

Q 全員協議会で意見を聞き、議員定数を削減するという方向性の意見が多かった。

■8月7日開催

Q 全員協議会で意見を聞き、議員定数を削減するという方向性の意見が多かった。

■8月7日開催

Q 全員協議会で意見を聞き、議員定数を削減するという方向性の意見が多かった。

■8月7日開催

Q 全員協議会で意見を聞き、議員定数を削減するという方向性の意見が多かった。

■8月7日開催

Q 全員協議会で意見を聞き、議員定数を削減するという方向性の意見が多かった。

■8月7日開催

Q 全員協議会で意見を聞き、議員定数を削減するという方向性の意見が多かった。

■8月7日開催

Q 全員協議会で意見を聞き、議員定数を削減するという方向性の意見が多かった。



▲さまざまなリサイクル品が並ぶ(上勝町にて)